

(II-92) 草炭・沙漠緑化に関わるホームページの作成

千葉工業大学工学部 学生員 ○市川 洋孝
千葉工業大学 講師 正会員 篠田 裕

1. はじめに

現在のように情報が氾濫している社会では、「良質な情報を頻繁に出す人に、ますます良質な情報が入る」という傾向がある。おそらく情報交換の最大のメディアであると考えられるインターネットは、まさに良質な情報の宝庫で、これを積極的に利用して、確かな情報を得ることが出来れば、我々の知識はますます広がり、当研究室の研究に関する情報収集に、幅を持たせることができると考えられる。

2. 目的

本研究は、インターネットを情報収集の手段としてだけ利用するのではなく、情報発信の手段としてもとらえて、当研究室のホームページを作成することを目的としたものである。

具体的には「草炭」「沙漠緑化」について、世界の至る所の研究機関、事業団体、ボランティアグループの行ってきた緑化プロジェクト、学会の報告等、本研究室の研究に関係がある事柄をまとめたものを掲載、また関連機関へのリンクの貼付により、より多くの良質な情報を提供・収集することで、今後の研究に役立てることを、目指している。

3. 良質な情報とは

より良い情報を得るためには、こちらも良い送り手になる必要があるということは、先に述べた通りである。それでは、良質な情報を発信するページとは、どのようなものだろうか。

誰もが快適にアクセスできるホームページの容量には限度があり、データ量の大きな巨大なページは、アクセスに時間がかかるばかりである。巨大なだけで魅力のないページよりも、洗練された、うまい、きれいなページを作ることが重要だといえる。

また、インターネットの世界では、リンクをたどりながら、ページからページへ飛ぶことができる。つまり、インターネットは、ハイパーリンクという機能を利用し、情報をどんどんかき集め、それを利用して自分の情報集積度を上げるように構造化し、かつ組織化することができるようになっている。良いページには、たいていそれ自体が、また別の情報源に多くのリンクを張っているものである。

4. 情報収集

我々が必要とする情報は、大きく分けると「草炭」と「沙漠化」の二つのカテゴリーだが、本報では、この両方とも文献整理を中心にまとめた。

「草炭」は、定義から分類、分布、埋蔵量、物理的性質、沙漠緑化への利用などについて掲載した。「沙漠化」は、定義からそれが及ぼす影響、国際的な取り組みなどについてまとめた。その他、関連分野についての情報収集には、文献も使用したが、インターネット上をサーフィンして情報を集めた。

その際には、後にこのページが新しい情報を得て更新されることも考え、企業と研究機関とに区別するなど、使用しやすい工夫をして、リストの形にまとめた。

キーワード：インターネット、沙漠緑化、草炭、関連機関

連絡先：千葉県習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学土木工学科 TEL 047-478-0446 FAX 047-478-0474

5. ホームページの作成

ブラウザソフトは、Netscape Navigator Ver. 2.0を使用、写真はデジタルカメラ QV-100により撮影・取り込みを行った。ページ作成における大まかな手順は、以下のとおりである。

- 1) 全体の構成を決め、資料を集める。
- 2) 情報の混乱を避けるため、個々のページの作業を分担する。
- 3) 写真や使いたいイメージを取り込み、保存する。
- 4) ブラウザで確認しながら、HTMLを使ってレイアウトや文字を入力する。

6. ホームページの構成

図1に示すように、メインのページは6つのタイトルから構成され、そこから奥のページへ入る形にした。

また、それぞれのページから、キーワードにより外部関連ページへジャンプできるようにした。以下に、今回リンクを貼った外部のページの例をいくつか紹介する。

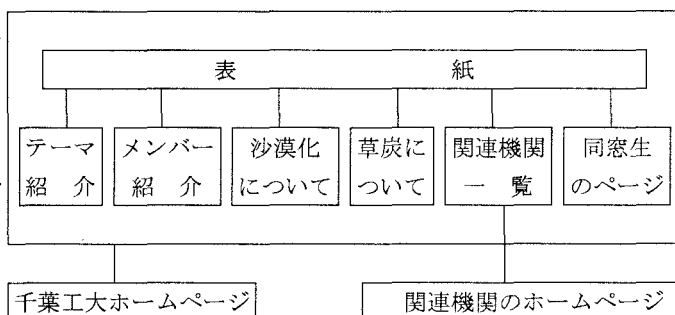


図1 ホームページの構成

＜ 外部へのリンク例 ＞

- ・千葉工業大学土木工学科ホームページ (<http://www.ce.it-chiba.ac.jp/index-i.html>)
本学土木工学科の他の研究室、他学科の研究室、大学の紹介など。
また一部サークルの紹介や、学校行事、学生のための下宿先の紹介なども掲載されている。
- ・草炭研究会ホームページ (<http://www.bekkoame.ne.jp./satakun/peat/p-index.html>)
発足からこれまでの活動内容、歴史などが掲載されている。
ページ自体は、まだテスト段階のようだが、我々の研究と深く関係がある機関の一つであるため、今後、草炭を研究する上で相互に役立つことが予想される。
- ・日本緑化工学会ホームページ (<http://www.soc.nacsis.ac.jp/jsrt/index.html>)
国立大学を中心とした数多くの機関から成り立っており、緑化活動に関する様々な情報を知ることができる。

また、外部から情報を入手しやすくするために HTML のフォームタグを利用し、ユーザ側から本研究室へ情報をフィードバックすることができるようにした。

7. 総括

情報は日々増加していくもので、今回作成したページも、定期的に更新していかなければならない。そのため、早急にホームページを公開し、その反応を見た上で、必要な最新の情報を収集・分類・整理していくことと、それに見合った関連ページへのリンクを増やすこと、情報収集のための機能をさらに充実させていくことが、今後の課題となる。

＜参考文献＞

- 1) 村井資長：草炭の科学，草炭研究会，1998
- 2) 門村 浩：DATA BOOK OF DESERTIFICATION / LAND DEGRADATION，1997
- 3) 松本 聡：沙漠開発要素技術，社団法人 日本沙漠開発協会，1995